

第 2 回 羽田空港における共同溝の強靱化対策検討委員会 議事要旨

日 時：令和 8 年 6 月 25 日（木） 14：30 ～ 16：10

場 所：合同庁舎 3 号館 11 階 特別会議室

議事要旨

○ 羽田空港の共同溝の強靱化に向け、長寿命化・不同沈下対策・耐震化に関する検討を行った結果について、報告・議論を行った。

○ 上記の検討結果を踏まえ、共同溝の強靱化に向けた基本方針について議論を行った。

（委員からの主な発言）

○ 圧縮強度試験の結果、設計基準強度を満足しなかった箇所については、その評価について十分に留意するべきではないか。

○ 不同沈下対策の必要箇所については、構造的な観点から対策が必要な箇所と、止水機能といった機能的な観点から対策が必要な箇所といった、それぞれの違いを明確化するべきではないか。

○ 地層条件が大きく異なる区間の境界部においては、地震時の応答特性の違いに起因する変位差が生じる可能性があることから、その影響についても考慮するべきではないか。

○ 工法の選定にあたっては、各工法の適用条件や、各箇所の地盤条件・施工条件等を考慮した上で、工法の組み合わせも含めて詳細に検討するべきではないか。

○ L1 地震動に対応できない施設が多い場合には、まず L1 地震動に対する性能を満足する構造にした上で、次の段階として L2 地震動対策を進める考えもあり得るのではないか。

○ 羽田空港全体としての強靱化を実現するためには、共同溝躯体に係る対策だけでなく、ライフライン全体の代替性や冗長性の確保についても検討するべきではないか。

○ 今回議論した長寿命化・不同沈下対策・耐震化の調査結果や、強靱化に向けた基本方針を踏まえ、今後、具体的な対策内容についての検討を進めていただきたい。

以上